



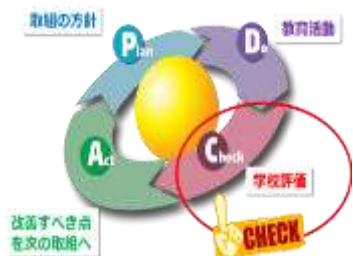
令和元年度 第1回学校評価結果について

第1回学校評価アンケートへのご協力ありがとうございました。今回は、『確かな学力』に関する質問9項目、『豊かな心』に関する質問4項目、『健やかな体』に関する質問3項目と『情報発信』に関する質問5項目の計21項目の「学校評価保護者アンケート」を夏休み前に実施いたしましたところ、96.9%の保護者の方にご回答いただき、たくさんの貴重なご意見をいただくことができました。

保護者アンケートや児童のアンケートから、多くの児童が学校生活を楽しみ、学習や様々な活動に意欲的に取り組んでいることが分かります。

のことから様々な学習の工夫や改善してきたことが成果となり表れていることや、児童のよりよい関わり合いの中で、お互いを想い合う心や優しい心、尊敬し合う心が育まれていると考えられます。

またこれらの結果は、学校や家庭だけでなく、地域との様々な関わりの中で大切に育てられていることも本校の大きな特徴であります。以下のアンケート結果をふまえて、これまでの教育活動をふりかえり、改善すべき点を次の取組へつなげていきたくと考えています。



◇保護者アンケート結果一覧表

	よく出来ている	大体出来ている	あまり出来ていない	出来ていない	わからない
お子さんは、安心して、楽しく登校することができますか。	50.5%	45.6%	2.0%	1.6%	0.2%
お子さんは、学習したことを丁寧にノートに書いていますか。	22.8%	53.0%	16.3%	5.3%	2.6%
お子さんは、人の話をしっかりと聞いて理解できますか。	16.7%	62.6%	16.5%	2.8%	1.4%
お子さんは、学校で勉強している内容がよく分かっていますか。	19.3%	66.0%	10.2%	3.1%	1.4%
お子さんは、自分の思いや考えをすすんで話すことができますか。	16.7%	57.1%	21.0%	3.5%	1.6%
お子さんは、算数の授業に関心がありますか。	21.6%	55.4%	16.9%	3.7%	2.4%
お子さんは、難しいことでも失敗をおそれずに最後まで挑戦しようとしていますか。	12.8%	53.1%	24.5%	7.3%	2.2%
お子さんは、すすんで宿題に取り組めていますか。	28.2%	49.5%	16.8%	5.3%	0.2%
お子さんは、すすんで宿題以外の自主的な学習に取り組めていますか。	15.6%	34.7%	34.7%	14.0%	1.0%
お子さんは、場に応じた気持ちのよいあいさつや返事ができますか。	16.3%	57.3%	21.7%	4.3%	0.4%
お子さんは、言葉づかいに気付けていますか。	13.0%	54.5%	25.6%	5.7%	1.2%
学級活動や児童会活動、たてわり(フレンドリー)活動などを通じて、子どもの発想を生かした取組が進められていますか。	15.9%	58.0%	7.1%	1.2%	17.7%
お子さんは、友だちや周りの人と協力して課題を解決できますか。	15.9%	65.7%	8.6%	0.8%	9.0%
お子さんは、人をいじめたり、なまかまはずれにしたりしないように行動できますか。	39.2%	54.5%	2.2%	0.0%	4.1%
お子さんは、安全に気を付けて行動できますか。	27.0%	62.5%	8.9%	1.0%	0.6%
お子さんは、学校のきまりや社会のルールを守っていますか。	34.2%	60.5%	3.1%	0.8%	1.4%
学校だより、学級だより、学校ホームページ等を通じて、学校・担任からのメッセージや学校の様子がよく分かりますか。	23.3%	64.9%	8.3%	0.8%	2.6%
京都嵯峨学園の名称について、保護者の方や地域の方に知っていますか。	22.3%	56.6%	9.7%	2.2%	9.1%
小中の連携した教育活動として取り組めていますか。	12.0%	50.8%	12.8%	2.4%	22.0%
京都嵯峨学園は、お子さんに夢や希望がもてる活動ができるていますか。	11.8%	51.1%	11.4%	1.2%	24.5%
京都嵯峨学園の教育活動について、情報提供ができますか。	10.1%	56.0%	14.2%	1.6%	18.1%

◇児童アンケート結果一覧表

	よくできている	だいたいでいる	あまりできていない	できていない
学校生活はたのしいですか。	54.8%	35.0%	6.9%	3.3%
学校で学習することはたのしいですか。	49.8%	37.4%	9.1%	3.7%
夢や目標をもって学習できていますか。	47.8%	33.1%	15.7%	3.3%
ノートに勉強したことや考えをていねいに書いていますか。	48.6%	36.0%	12.2%	3.1%
先生や友だちの話をしっかりと聞くことができますか。	55.2%	37.3%	5.9%	1.6%
学校での学習はよくわかりますか。	58.3%	30.3%	9.1%	2.4%
授業に、すすんで手をあげていますか。	42.0%	29.0%	19.7%	9.3%
グループ内で自分の考えをすすんで話していますか。	48.2%	32.7%	14.8%	4.3%
算数の学習などで考えることはたのしいですか。	53.5%	27.1%	12.9%	6.5%
むずかしいことでも、がんばって挑戦していますか。	60.1%	29.3%	8.6%	2.0%
宿題は、毎日忘れずにしていますか。	68.0%	21.9%	7.2%	3.0%
宿題とはべつに、家ですすんで学習をしていますか。	53.4%	25.1%	12.6%	8.9%
学校や家で、自分からすすんで気持ちの良いあいさつや返事をしていますか。	53.1%	36.3%	8.1%	2.6%
友だちや家の人が悲しくなるような、ひどい言葉づかいをしないように気を付けていますか。	61.1%	30.6%	7.3%	1.0%
フレンドリー活動は、たのしいですか。	70.7%	17.9%	8.3%	3.1%
みんなと協力して、いろいろなことに取り組んでいますか。	59.1%	31.8%	7.7%	1.4%
人をいじめたり、仲間はずれにしたりしないように気を付けていますか。	81.9%	14.8%	2.6%	0.8%
学校や家で、安全に気を付けて行動していますか。	72.2%	23.6%	3.9%	0.2%
学校や家での「きまり」を守っていますか。	57.3%	37.4%	4.9%	0.4%
学校で配られた手紙やプリントをきちんとお家の人見せていますか。	71.3%	18.7%	6.7%	3.3%





『確かな学力』の育成に向けて

★自分大好き、友だち大好き、キラキラ笑顔の実現を目指します。

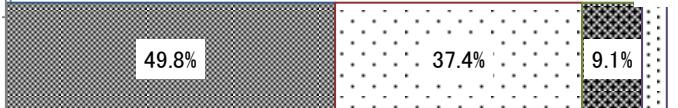
【児童】学校生活はたのしいですか。

3.3%



【児童】学校で学習することはたのしいですか。

3.7%



■よくできている □だいたいできている
■あまりできていない □できていない

本校の学校教育目標は、『心豊かにたくましく、自ら学びに向かう子』～自分大好き、友だち大好き、キラキラ笑顔～です。この目標を中心に今年度の様々な学校教育活動を行っています。児童アンケートからも「学校生活が楽しい」89.8%、「学校で学習することは楽しい」87.2%と多くの児童が学校での学習や生活を楽しんでいる様子が伺えます。しかしその一方で、学校生活や学校での学習に楽しさを感じていない児童が10%程います。10%の児童が学校での生活や学習の中で楽しいと感じられない原因や困りに目を向け、解決していける教職員集団でありたいと考えています。もちろん児童が楽しんで学校生活や学習が行えるように取り組んでいくことを前提に後期の学校教育活動も進めていきます。



★主体的・対話的で深い学びを続け、児童の話す・聞く力を伸ばします。

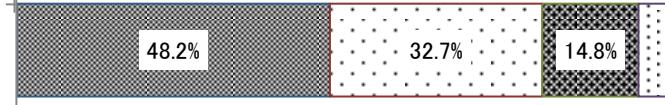
【児童】授業中に、すすんで手をあげていますか。

9.3%



【児童】グループ内で自分の考えをすすんで話していますか。

4.3%



■よくできている □だいたいできている
■あまりできていない □できていない



授業の中で、自分の考えを話すこと・友だちの考え方を聞くことを大切にしています。また、外国の方や地域の方にインタビューするなどの活動も多く取り入れ、自分の考え方や質問を話すことで新たな発見があったり、人とのコミュニケーションの楽しさを感じたりする学習もおこなっています。

本校では算数科の学習を研究していく中で、主体的に学習できる子・学習したことを豊かに表現できる子を目指してきました。その中で、全学年で授業スタイルを確立してきたこと、ノート検定やステップアップ学習などでノート指導をしてきたこと等が成果となっていることが感じられます。しかしその中で、話すことに関する質問については、「できている」と答えている児童が少ないと言えます。教職員からも授業をしていて発表する児童が決まっている傾向がある、間違えることに抵抗感がありみんなの前で自分の意見を言えない、自分の意見をみんなの前で話す経験が少なく緊張してしまう等の声がありました。そこで「グループ内では進んで話している」という結果を踏まえてペアでの話し合い、グループでの話し合い、少人数での話し合いや討論などの場を上手く活用することで学年を通して話す力を付けていけるように取り組んでいます。また、話し手を受け止める聞き手の存在も大きいと考えます。話す・聞く力を両方育てていくことで、より「話したい。」「自分の意見を言いたい。」と思えるような授業を大切にしています。これらの取組の成果が少しずつでも上がるような学習環境を今後も模索していきます。





『豊かな心』の育成に向けて

★高学年をお手本に、子どもたちが主人公になれる取り組みを進めます。

【児童】フレンドリー活動は、たのしいですか。



【児童】みんなと協力して、いろいろなことに取り組んでいますか。



- よくできている □だいたいできている
- あまりできていない □できていない

フレンドリー活動については多くの児童が「できている」と感じており、楽しんでいることがわかります。月に1回程度たてわりグループで集まり、6年生がリーダーとなって教室や体育館、運動場で遊びます。高学年が優しく声を掛けたり、低学年ができる遊びを考えたりしてくれることで、グループの子どもたちは安心して遊ぶことができています。このように仲良く活動できているのも、6年生が1年生の給食準備や掃除のお手伝いをすることで低学年と関わったり、集団登校でみんなをまとめたりする過程で育まれた豊かな心の表れではないでしょうか。また、高学年のこのような姿が「嵯峨小学校の高学年」の姿として受け継がれているように感じます。



フレンドリー（たてわりグループ）で大縄大会を行ったり、夏休み明けには草抜きを行ったりしています。低学年の子どもたちができるように声をかけ、丁寧に教えてあげている姿が見られました。

★場に応じた挨拶や言葉遣いができる子どもたちを目指します。

【保護者】お子さんは、言葉づかいに気を付けていますか。



- よく出来ている □大体出来ている
- あまり出来ていない □出来ていない
- わからない



嵯峨小学校の3つの『あ』

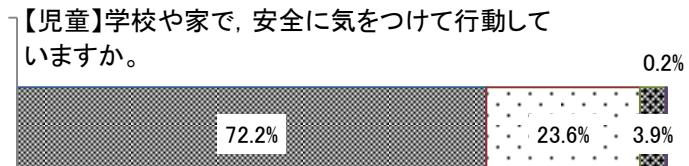
- あ あいさつ** 明るく元気なあいさつをしよう
- あ ありがとう** 感謝の心をまっすぐに伝えよう
- あ あとかたづけ** 後から使う人のことを考えよう

言葉づかいに関しては、「できていない」と感じておられる保護者が多いようです。これは挨拶についても言えることですが、声の大きさや「～です。～ます。」の使い分け、誰と話しているのかで言い方を変える等様々な要素を考えられての結果であると思っています。実際、教職員と児童とがついつい同じような立ち位置で話している場面や、児童同士が面白がって乱暴な言葉を使って話している場面を見かけることがあります。今は、テレビなどからも様々な言葉づかいを耳にします。身近にいる大人や高学年がよいお手本となり、嵯峨小学校の児童が言葉づかいの大切さに気付けるように取組を進めていかなければなりません。



『健やかな体』の育成に向けて

★1人1人の子どもたちの安全意識を高める取組を進めます。



■よくできている □だいたいできている
■あまりできていない □できていない



■よく出来ている □大体出来ている
■あまり出来ていない □出来ていない
■わからない

『健やかな体』に関する項目は昨年度同様、良い結果を得ることができました。全体的に自分もまわりの人も大切にしていると受け取っていいのではないでしょうか。また、『地域の子どもは地域で守ろう』という気持ちで、嵯峨の地域の皆様が子どもたちをしっかりと見守ってくださっています。登下校の見守りや、交通安全、自転車の安全な乗り方など地域の方から教えて頂いたことがしっかりと子どもたちの中に根付いています。しかし、この結果とは裏腹に最近児童の学校内でのけがが増えています。けがの原因としては、「廊下を走っていた。」「友だちとぶつかった。」「周りを見ていなかった。」等防ぐことができたものも多くあります。児童の安全意識だけでなく、教職員の危険予測も高めていく必要があると感じています。今まで事故やけががなかったからといって安心せず、常に児童の行動や周りの様子に気を配り、安心して過ごせる学校づくりを進めていきます。

交通安全教室では地域の方から教えていただいたことを守り安全に登下校できています。



学校運営協議会による学校関係者評価



10月15日（火）に学校運営協議会を開催し、令和元度第1回学校評価結果についての学校関係者評価をいただきました。今回のご意見をもとに本校の取組を点検し、今後の学校運営に生かしていきたいと考えています。

確かな学力

- ・コンピュータや携帯など便利になった分、辞書を引いたり、自分で書いたり苦労して身に付ける経験は減ったように思う。（意味調べや漢字の書き取り、筆順など）
- ・「人前で話す」「大人と話す」「先生と話す」など様々な環境の中で話す機会を作っていく、子どもたちの自信になるような取組をすることが大切ではないか。

豊かな心

- ・フレンドリー活動（たてわりグループ）は様々な年齢の子どもたちが一緒になって活動するので、低学年の面倒を見たり、高学年がお手本になったりするので大変よい取組だと思う。
- ・子どもたちは、テレビやインターネットの動画などから様々な言葉遣いを耳にしている。身近な大人や教職員が正しい言葉遣いをしていくことが大事である。
- ・運動会の時に、子どもたち同士で「静かにしよう」「座ろう」など注意し合っている姿を見て、素晴らしいと感じた。

健やかな体

- ・子どもたちの防犯ブザーの点検を各家庭で行ってもらうよう、学校から働きかける取組があつてもよいと思う。（電池の点検・音が鳴るかどうかの点検など）
- ・苦手な給食については、個々への声かけや料理のおいしさ、歴史などを伝えていくことで少しずつ子どもが変わっていく様子を続けて見守っていくことが大切だと思う。